

(別紙3)

神奈川県における効果的な捕獲に係る新技術の地域実証評価報告
(効果的捕獲促進事業)

1 対象指定管理鳥獣の種類、技術名、実証地域及び時期

指定管理鳥獣名	イノシシ
技術名	わな捕獲に係る遠隔監視システム
実証地域	横須賀三浦地域
実証時期	平成31年1月～平成31年3月

注：実証地域の位置が分かる地図を添付すること。

2 現状の指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲の状況及び課題等

相模川以東の横須賀三浦地域は、長らくイノシシの生息が見られていなかったが、平成25年度頃から、再び生息が確認され、農作物被害も発生している。同地域での捕獲数の実績の経過から、生息数が急増しているものとみられ、二子山山系の恵まれた生息環境から、更に生息数は増加し、生息数の増加に伴いイノシシの生息分布も拡大するものと考えられる。

現在生息する山林は、周囲を市街地に囲まれており、イノシシの生息分布が拡大することにより、生活被害・人身被害が多発し、同地域の住民が脅かされるおそれがある。

また、三浦半島の南部地域は、露地野菜の専業農家が集まる全国有数の大産地を形成しており、今後、二子山山系を中心に生息分布が拡大した場合、甚大な農作物被害が発生するおそれがある。

しかし、同地域では、従来から生息している他地域に比して、イノシシによる被害を防止するための捕獲に取り組んだ経験が乏しく、被害が急速に増加するおそれがあり、分布の拡大防止に向けた早急な対策が必要とされている。

3 地域実証する技術の概要

【遠隔監視システム（オリワナ通信）】

わなの作動状況をクラウドサーバー上で一元管理し、端末で確認できるシステムを運用する。（※別紙参照）

注：実証する技術の写真や内容等の概要が分かる資料を添付すること。

4 具体的な実証の方法・内容

横須賀三浦地域において、多数のわなを一括で遠隔監視するシステムを試行運用し、捕獲活動の効率化やわなの見回りの負担軽減の効果等を検証する。

また、委託先とともに、捕獲及び遠隔監視システム運用に係る効果検証を行い、当該システムの効果的な運用について、県内各地域に普及啓発を行う。

《検証内容》

①通信情報の信頼性について

システム（親機・中継機・子機等一式）設置場所や地形（山間部や谷戸地形）を踏まえた上で、わな作動時の通信情報の信頼性を評価する。

②作動情報の信頼性について

わな作動情報と捕獲の成否（誤作動の有無）の信頼性を評価する。

③効率性について

わなの作動の確認から現場確認及び止めさしまでの時間や作業に要した人員を基に、システムを用いた場合の作業効率や負担軽減率を考察する。

④システム運用の満足度

見回りや止めさしに係る負担軽減や対応スピードなど、捕獲従事者としての視点から、システムの運用について評価する。

⑤システム運用の妥当性

受託者との事後打合せにおいて、システムの使用感や負担、改善に向けた課題などを整理する。

《評価結果》

①通信情報の信頼性について

わなの作動状況を送信する子機の設置に当たり、GPS位置情報の取得に想定していた以上の時間を要したほか、ウェブ管理画面の地図上の子機の位置と、実際に設置した位置が異なって表示されていたことから、GPS位置情報の精度向上や捕捉時間の短縮が望まれる。

②作動情報の信頼性について

子機1台に初期不良と見られる誤作動があり、捕獲や錯誤捕獲がないにも関わらず、作動通知が届くことが複数回あったが、メーカーに依頼し、該当の子機を交換した後、わなの作動状況を正常に把握することができ、情報の信頼性が確認された。

③効率性について

見回り回数を減らし、負担軽減を図ることができた。
また、捕獲時には、作動通知を確認し、止めさしの準備をした上で、複数人で作動したわなに向かうなど、効率的に作業することができた。

④システム運用の満足度・⑤システム運用の妥当性

わなの情報をクラウド上で一元管理でき、複数人で共有し、わなの見回り回数を減らすことで、捕獲従事者の負担を軽減することができた。
また、GPS位置情報の精度や取得までには多少時間がかかったものの、位置情報の修正方法など使い方を理解すれば簡単に操作や情報共有ができ、見回り負担の軽減のほか、無線通信による通信コスト等の経費の節減にもつながることがわかった。

注1：2の課題等を踏まえた技術実証の方法や内容を具体的に記入すること。

注2：事業終了後の評価報告においては、注1を踏まえ、その評価結果を具体的に記入すること。

5 その他

注：地域実証に当たって、特記すべき事項があれば記入すること。